国カテゴリー

該当なし

Gentianopsis yabei (Takeda et H.Hara) Ma ex Toyok.

選定理由

県内における生育地が極めて限られ、個体数も少ない。(現況:R-)

形 態

花はふつう4数性で裂片は花時でも渦巻き状に重なる。花冠列片の間に副片がなく、喉部には内片もない。花冠は白色、裂片の基部付近は青紫色を帯びる。花筒は萼の長さの約1.5倍。

国内分布

白馬山系、白山。

県内分布

白山高地区。

生態など

1~越年草、花期は8~9月。

生育環境

開けた草地や砂礫地に生える。

危険要因

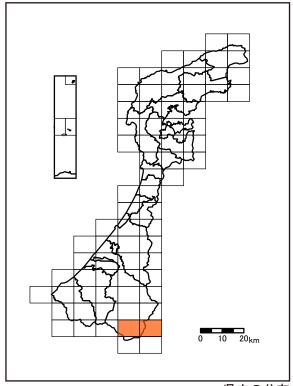
動物食害、自然遷移、産地局限、砂防工事、斜面崩壊。

特記事項

一部の自生地は斜面の崩壊で激減。近年、10~30株程度が結実するが、ノウサギの食害が目立つ。



白井伸和・2006年9月12日・白山



県内の分布